◇会議報告◇

米国財務会計基準審議会（FASB）との第33回定期協議の概要

ASBJ専門研究員　伊藤（いとう）　剛（つよし）

1. はじめに

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2023年10月17日及び18日に米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第33回定期協議を東京で開催した。ASBJからは川西委員長、紙谷副委員長、中條常勤委員ほかスタッフが参加した。FASBからは、Richard R. Jones議長、James L. Kroeker副議長、Hillary H. Saloテクニカル・ディレクターが参加した。

なお、文中の発言者及び筆者の意見にわたる部分は、各人の私見であり所属する団体・組織の見解ではない。

2. 全体のスケジュール

日　程	議　題
初日	近況報告等
	非金融負債
	無形資産
	暗号資産
	株式発行費
	環境クレジット・プログラム
	金融商品: 電力購入契約
	リース
2日目	パーシャルスピンオフの会計処理
	分解表示― 損益計算書の費用

3. 議事概要

(1)　近況報告等

FASB 及び ASBJ の双方の代表者より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- アジェンダの優先順位付け
- テクニカル・アジェンダ計画
- 分解表示に関するプロジェクト
- 法人所得税の開示の改善
- セグメント報告
- 発生した財務報告の論点
- その他のテクニカル・プロジェクト

ASBJ の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 現在の日本基準の開発状況
- 国際的な活動

(2)　非金融負債

ASBJ の代表者より、企業の将来の活動に連動する条件付債務に基づく負債に関する ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(3)　無形資産

ASBJ の代表者より、無形資産に係る会計処理の改善のプロジェクトを行う場合に考えられるアプローチについて ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(4)　暗号資産

ASBJ の代表者より、暗号資産に関する次の論点について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 譲渡制限のある暗号資産の事後測定
- 関連会社が発行した暗号資産

(5)　株式発行費

ASBJ の代表者より、株式発行費に関する会計処理について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(6)　環境クレジット・プログラム

ASBJ の代表者より、環境クレジットに係る資産及び排出量削減義務に係る負債の認識及び測定について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(7)　金融商品: 電力購入契約

ASBJ の代表者より、電力購入契約の会計処理について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(8)　リース

ASBJ の代表者より、ASBJ が 2023 年 5 月に公表した企業会計基準公表草案第 73 号「リースに関する会計基準（案）」等に関連して、インフラ設備を使用する権利に適用する会計基準について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(9)　パーシャルスピンオフの会計処理

ASBJ の代表者より、ASBJ が 2023 年 10 月に公表した企業会計基準適用指針公開草案第 80 号「自己株式及び準備金の額の減少等に関する会計基準の適用指針（案）」等に関連して、パーシャルスピンオフ実施時のスピンオフ実施企業における会計処理について ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

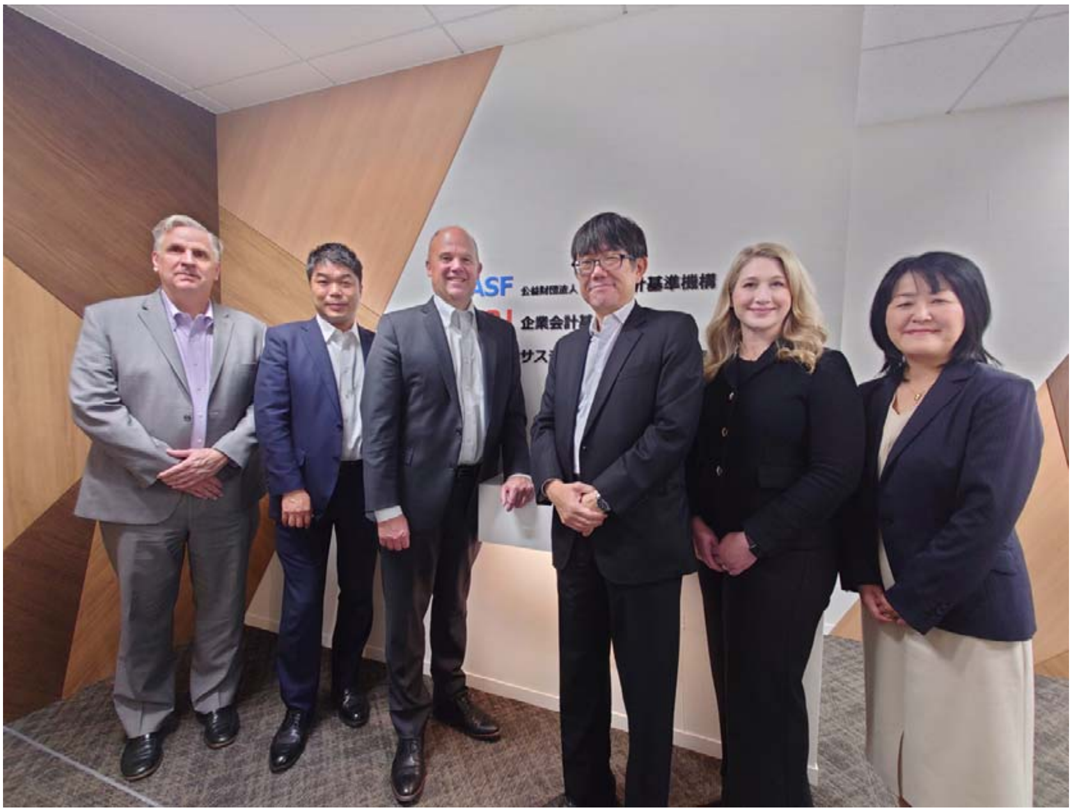
(10) 分解表示 ― 損益計算書の費用

ASBJ の代表者より、FASB が 2023 年 7 月に公表した会計基準更新書案「損益計算書 ― 包括利益の報告 ― 費用の分解表示（サブトピック 220-40）：損益計算書の費用の分解表示」で提示された主な提案項目について ASBJ スタッフのコメント及び質問が示され、議論が行われた。

4．次回の予定

次回の定期協議は、2024 年の後半にノーウォークで開催することが予定されている。

ASBJ オフィスで記念撮影



以　上